

2023.6.30

【研究課題名】訪問看護ステーション利用者の睡眠問題の実態把握

【研究の意義・目的】

精神疾患を抱える方の半数以上が睡眠障害を有しており、睡眠問題を治療すると、他の精神衛生上の問題が軽減される傾向がある。精神保健サービスにおいて、睡眠問題の評価と治療をケアに組み込むことは、患者にとって有益である可能性が高いと言われている [Freeman.2020]。本研究では、精神科訪問看護を利用される方の睡眠問題の実態を把握し、ケアの向上につなげることを目的とする。

【研究の対象】

- 1) 当ステーションの利用登録者
- 2) 2023年4月1日から2023年7月1日までの期間中に訪問看護を1回以上利用された方

【研究期間】

2024年3月31日まで

【研究方法】

試料:利用しません

情報等:診療録(年齢、性別、診断名、重症度の基本情報、処方薬情報、症状情報、通院頻度、訪問看護利用頻度、生活状況)※氏名や電話番号は含まれません

【個人情報の保護等】

本研究で得られた情報は本人が特定できない方法で厳重に管理し、研究成果公表の際には、匿名性に配慮し、個々の患者様を同定できる内容を公開することはありません。研究成果の公表後に、研究参加を拒否することはできませんが、本研究への質問、および「参加したくない」(研究の対象から外してほしい)と思われる方は、問い合わせ担当者へご連絡ください。この研究への参加に参加したくないと意思表示されても、不利益が生じることは一切ありません。

【研究代表者】 笑ひ笑ひ訪問看護ステーション 中野真樹子

【問い合わせ先】 笑ひ笑ひ訪問看護ステーション 中野真樹子 0422(71)4188

【参考文献】

Freeman, D., Sheaves, B., Waite, F., Harvey, A. G., & Harrison, P. J. (2020). Sleep

disturbance and psychiatric disorders. *The Lancet Psychiatry*, 7(7), 628-637.

以 上